

三沢小学校SDGsだより第30号 令和7年3月19日

春分の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。
また、日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきまして御礼申し上げます。
さて、SDGs教育推進モデル校として、2年目に取り組んだ成果についてお知らせ致します。なお、児童が作成したSDGsパンフレットも添付いたしますのでご覧下さい。

研究主題 SDGsの実現に向けた教育活動の推進
～三沢の風土に学び、自分事として活動できる児童の育成～



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



学校・家庭・地域が連携



☆SDGsの課題を自分事として考えるようになります。
☆課題が改善するように、できることから活動します。

1. SDGsの課題を自分事として考えることができる児童の割合 (%)

アンケートの結果、なった、どちらかといえばなったと回答した児童が94%でした。このことから、殆どの児童がSDGsの課題について自分事として考えられてきています。
診療印刷・東洋精工と連携した総合的な学習の時間の授業を中心として、ご家庭で一緒に取り組んでいただいたSDGsシート、朝の会で歌ったSDGsの歌、SDGsタイムで行ったSDGsカードゲームなどを行った成果だと考えています。



2. SDGsの課題の改善に向けて活動する児童の割合 (%)

アンケートの結果、なった、どちらかといえばなったと回答した児童が94%でした。このことから、殆どの児童が、自分でできる事を考え、取り組むことができきています。
校舎内にSDGsマークを貼り、SDGsを意識した学校生活、活動した内容を書いて貼るGO!GO!SDGsなどを行った成果だと考えています。



保護者の皆様、SDGs教育にご協力いただきありがとうございました。